

九州沖縄地方向け基本方針

- 九州・沖縄の9つの放送局は、NHKならではのネットワークを生かし、信頼できる情報や、多様な価値観への相互理解につながるコンテンツを提供することで、公共メディアの役割を果たします。それぞれの地域に合ったサービスを展開し、地域社会に貢献する放送局を目指します。
- 大雨や台風、地震や噴火などの自然災害に備え、正確な情報を迅速に放送とデジタルを連携させる形で届け、人々の命と暮らしを守ります。情報提供が必要な被災地の人々に寄り添った番組作りをするとともに、防災・減災につながる地域のさまざまな取り組みも積極的に発信します。
- 情報空間が拡大する中で地域においても信頼されるジャーナリズムを構築するために、九州・沖縄の安全保障を巡る問題や、平和な世界の構築に貢献する取り組み、地域経済の活性化につながる情報などを発信します。また、各地域における課題解決を目指すコンテンツを各地域に合った形で展開します。
- 民主主義の一翼を担う各種選挙には万全の態勢で臨み、放送やデジタルを駆使した正確・迅速、公平・公正な報道で、有権者の判断のよりどころとなる情報を提供します。
- 野球・サッカー・バスケットボール中継のほか国民スポーツ大会や高校総体など、プロ・アマチュアを問わず九州・沖縄のそれぞれの地元で根ざしたスポーツの魅力を届けるコンテンツを通じて地域の発展に貢献します。
- 放送開始100年となる2024年度、九州・沖縄のカルチャーを発信する番組や、親子世代の学びを支援するエンターテインメント番組のほか、地域の歴史や文化・伝統や、過去の映像資産の活用など、幅広いジャンル・世代に向けて、人生を豊かにする多様なコンテンツを提供します。

各局の重点事項

福岡放送局

- **地域の関心が高いテーマを掘り下げ、課題解決や活性化につなげます**

平日午後6時台のニュース・情報番組では、“もっと福岡を。”をキャッチコピーに、地域で関心が高いテーマを深く掘り下げます。地球“沸騰化”による地域への影響や平和の実現に向けた取り組み、人口減少による社会問題などを継続的に取材します。さらに、スポーツや地域の課題を解決に導く取り組みを通じて、視聴者に役立つ情報を提供していきます。
- **アジア情報を積極的に発信します**

外国からの観光客数が増加している中、歴史・文化・経済面でアジアとの交流が深い地域の特性を生かし、アジアに関する情報を積極的に発信します。また、地域で暮らす外国人の暮らしぶりや思いなどを描くとともに、海外取材の機会を増やしていくことで、各国の現状や多様な文化を紹介するニュースや番組を放送します。
- **地域の特色を生かした多彩な番組で視聴者の心に寄り添います**

福岡県域向けの放送では、県内各地のさまざまな人々の暮らしや日常に迫るドキュメンタリー番組、地元の伝統文化の継承に貢献する番組を制作します。また、2024年度後期の連続テレビ小説で福岡県が舞台となることを生かして、地域の魅力を全国に発信していきます。

北九州放送局

- **視聴者のニーズに応えるコンテンツを多彩に展開します**

平日午後6時台のニュース・情報番組などを通じて、地域の情報をきめ細かく的確に発信します。エリア内の課題である人口減少や地域活性化など関心が高いテーマを掘り下げて伝えるほか、視聴者の目線に立ち、視聴者と作り上げ参加感を満たすコーナーを展開。デジタルも駆使しながら、視聴者に寄り添った多彩なコンテンツの充実に努めます。
- **エリア内の多様な魅力をあまねく丁寧に伝えます**

多様な魅力を有する北九州・筑豊地区。近代化を支えたものづくりの街としての産業の集積、豊富な農産物を生み出す自然環境、日本を代表する修験道のひとつ、英彦山に代表される伝統や文化、アジアの玄関口としての国際的役割など、エリア内各地域の魅力をあまねく取材し丁寧に発信します。また、隣県の山口、大分とも連携し緊急報道に備えるとともに、歴史・文化・経済的なつながりを伝えます。

熊本放送局

- “もっとくわしく、もっと近くに” 視聴者目線の番組を届けます
平日午後6時台は、視聴者の役に立つニュースや情報を全力発信。熊本の“いま”を深く掘り下げるとともに、熊本地震や豪雨災害からの復興、水俣病など熊本固有の課題に向き合います。出演者は積極的にスタジオを飛び出し、中継など多彩なスタイルで地域のみなさんとともに放送をつくります。また、クラブ設立20年の節目となるサッカーJリーグ「ロアッソ熊本」など、地域を元気づけるスポーツの話題や、過去の映像資産も積極的に活用して、熊本に寄り添ったコンテンツを発信します。
- 新たな視聴者層に向けた情報の発信に取り組みます
世界的な半導体メーカーの進出に伴い増加が予想される、熊本県内の新しい視聴者層へ向けた情報発信に力を入れます。特に防災・減災情報については、風水害などに加え、巨大地震の発生に備え、台湾などから来た外国人視聴者も意識したコンテンツの発信に取り組みます。

長崎放送局

- もっと“長崎”に親しまれる放送局へ
「長崎くんち」など地域の行事に連動したコンテンツ・イベントを展開し、地域に根ざした放送局として街のにぎわいづくりに貢献します。幅広い世代が楽しめるコンテンツを開発し、平日午後6時台のニュース・情報番組で継続発信することで、地域に親しんでいただける番組をお届けします。
- 2年かけて「被爆80年」を考えます
2025年は長崎に原爆が投下されて80年の節目の年となります。しかし、世界では侵略や戦争が続いています。被爆を直接体験した世代がこの世を去る「被爆者なき時代」が現実となる中、唯一の戦争被爆国として原爆の悲惨さと平和の尊さを後世にどのように伝えていくか、硬軟さまざまな手法で「被爆80年」のコンテンツを2年がかりで展開します。

鹿児島放送局

- “知りたい”に応え地域に必要とされる放送局を目指します
馬毛島や奄美大島は防衛力強化の最前線で、変容を遂げつつあります。自衛隊基地や関連施設の建設を巡る動きや島民の思い、国の狙いなどを多角的に伝え、県民の“知りたい”に応えます。また、桜島や口永良部島などの火山活動や台風・大雨に際して、生命・財産を守る情報を発信します。さらに、鹿児島県知事選挙(任期満了日・2024年7月27日)、鹿児島市長選挙(任期満了日・2024年12月22日)などで有権者の判断に資する選挙報道を行うとともに、開票速報番組では手話を付加してユニバーサル放送を実現します。

■ 鹿児島島の魅力を掘り起こし県内外に発信します

2024年に45回目を迎えるクラシックの祭典「霧島国際音楽祭」。若い音楽家の育成の場にもなってきた音楽祭の魅力に迫ります。また鹿児島島の“食”の魅力を掘り起こし、農林水産業の振興にも寄与します。さらに、地域の人と鹿児島放送局のディレクターと一緒に作る企画の取材エリアを拡大。地域の人が伝えたい地域の魅力を発信し、公共メディアと地域の新しい関係を築いていきます。

宮崎放送局

■ 暮らしに直結する地域課題を深く掘り下げ、地域とともに解決の糸口を探ります

出生数の減少や若者の県外流出を背景に人口減少が進む中、少子高齢化・人手不足など暮らしに直結する地域課題を深く掘り下げ、視聴者とともに解決の糸口を探ります。また、農林水産業や観光など宮崎の基幹産業の現状と課題に向き合い、多様で持続可能な地域社会の実現に向けて、地域とつながり、地域をつなぐ役割を果たします。

■ 伝統文化と若い世代が創造する新しい芸術文化を応援し、豊かな未来につなげます

“神話のふるさと宮崎”に伝わる「神楽」など、歴史と豊かな風土に培われた文化資源の魅力を発信し、その伝承に貢献します。また、若山牧水ゆかりの宮崎で若い世代に広がる短歌創作のほか、多様なアートやダンス、アーバンスポーツなど新しい芸術文化の創造を育むとともに、将来の夢に向かって挑戦する子どもたちや若い世代に伴走し、宮崎の豊かな未来につなげます。

大分放送局

■ 地域のニーズに応える情報を発信します

大分県では11月に「第43回全国豊かな海づくり大会」の開催が予定されています。水産業をはじめ地域で活躍する人たちの話題を積極的に取り上げ、平日午後6時台のニュース・情報番組などで伝えていきます。また、「パリオリンピック・パラリンピック」が開催される中、「大分国際車いすマラソン」など障害者スポーツの認知向上を図るとともに、クラブ創設30年を迎えるサッカーJリーグ「大分トリニータ」など視聴者の関心の高い情報を発信していきます。

■ 地域の魅力を掘り起こし、活性化につなげます

金曜午後7時台の地域放送番組や全国放送番組などを通じて、県内各地域の魅力を掘り起こし積極的に発信します。県内で大型観光企画が予定される中、観光の振興につながる情報を提供し、地域活性化に貢献します。2023年度に作成したオリジナルソングを活用するなど、幅広い世代に親しまれる放送局を目指します。

佐賀放送局

■ 佐賀の課題と魅力取材し、深く広く発信します

陸上自衛隊の輸送機オスプレイの佐賀空港への配備計画、方針が決まっていない九州新幹線西九州ルート整備計画と並行在来線が抱える課題、玄海原子力発電所を巡る動き、新発見が期待される吉野ヶ里遺跡の発掘調査など、県民が高い関心を持っているテーマに取り組みます。佐賀県の自然・歴史・文化を取材し、その特色・魅力を全国にも発信します。

■ 佐賀からスポーツの魅力を伝えます

これまでの「国民体育大会」が「国民スポーツ大会」に名称が変わり、初めての大会が佐賀県で開催されます。この「国民スポーツ大会」「全国障害者スポーツ大会」を中心に、選手だけでなくスポーツに関わる地域の活動も含め、スポーツの魅力を広く伝えます。サッカーJリーグ「サガン鳥栖」、バスケットボールBリーグ「佐賀バルーンズ」、バレーボールVリーグ「久光スプリングス」などのプロスポーツ、高校野球など地域に根ざしたスポーツにも注目します。

沖縄放送局

■ 沖縄の歴史、文化、暮らしを全国・世界へ伝えます

「沖縄全戦没者追悼式」の中継や関連コンテンツを制作するとともに、2025年の戦後80年の節目に向けて沖縄戦を巡る実相をさまざまな方法で掘り起こし、全国・世界へ発信します。また、首里城再建の状況や琉球沖縄の伝統文化・芸能などの記録・放送にも継続的に取り組みます。

■ 地域の課題を深く掘り下げ、沖縄の将来を考えます

普天間基地の辺野古移設への動きを中心とするアメリカ軍基地問題、台湾有事も想定した日米の動き、先島諸島を巡る状況などを丁寧に伝えます。沖縄に約40ある有人離島をひとつずつ訪ね、その魅力や人口減少の中でコミュニティーをどのように守るのかといった課題に向き合う取り組みを伝えます。